

## [ 私立入試直前特集 ]

いよいよ入試本番、私立高校の推薦入試が迫ってきました。私立高校を受験する人のほとんどが1月22日(月)、23日(火)に試験日を迎えます。今まで蓄えてきた実力が発揮できるようしっかり準備しましょう。

### 主な準備・心構え

- 受験票は届きましたか。受験番号の報告、受験番号控えカードへの記入は終わっていますか。
- なにより体調を整えよう … 6時間以上の睡眠と規則正しい食事が基本です。万全の体調で試験に臨みましょう。

### 【試験前日】

- ① 学校で、担任の先生に報告。「明日、〇〇高校の入試に行ってきます。」
- ② 家で、持ち物の準備。  
受験票、入試要項(高校の電話番号がわかるもの)、筆記用具(三角定規・コンパスも。分度器、公式・格言やことわざの書かれたもの等は不可)、身分証明書、受験番号控えカード、上履き、お金(交通費、電話代)、マスク——これらは最低限必要なもの。これ以外の携行品については入試要項等で確認し、すべてをバッグ等に入れておきます。  
※携帯電話は特に許可のある高校以外は×。  
※参考書類は多くても各教科1冊程度に。見る物が何もないとかえって緊張します。
- ③ 当日の天候、交通の状況等を考えて、複数の経路を考えておきましょう。天気予報もチェック!
- ④ 十分な睡眠をとりましょう。

### 【試験当日】

- ① 早めの起床、持ち物の確認、朝ご飯(水分は控えめに)。
- ② 確認した経路・時間に従って家を出ます。集合時間の30分前には会場に着くように。
- ③ 会場に着いたら掲示等をよく見て、試験の教室やトイレの位置などを確認し、着席して待ちます。禁止されていない参考書等を見てもかまいません。  
※友人が近くにいてもおしゃべりは慎むべきです。トイレを済ませ、落ち着いて待ちましょう。
- ④ 試験開始…まず受験番号・氏名を記入します。できそうな問題から先に。見直しも忘れず。
- ⑤ 面接…校長面接を思い出しましょう。誠実さが大切。聞かれたことにしっかり答えましょう。
- ⑥ 終了後は寄り道せず、まっすぐ帰宅します。
- ⑦ 担任の先生への報告は、次の日に必ずしましょう。

## ピンチ!こんな時は

- ・朝起きたら高熱がある、体調がかなり悪く試験会場に行けない。 → まず高校に連絡し、指示に従う。中学校にも必ず連絡。無理しない。別の試験日を指定される場合が多い。
- ・待ち合わせ場所に友達が来ない。 → 時間になったら待たずに出発する。自分が遅れないことがまず優先。遅れた人も直行できる。
- ・電車(バス)の中で具合が悪くなった。 → 近くの駅で降りて休むか駅員さんに話して救護室で休ませてもらう。回復を待って遅れそうだったら電話を借りて高校か家に連絡する。→家から高校・中学校に連絡を入れてもらう。
- ・受験票を忘れた。 → 試験場の先生に申し出る。受験番号や氏名、中学校名等を答えれば、その日だけの臨時受験票を発行してもらえる。無理に取りに戻らない。
- ・電車が遅れた。 → 試験に間に合わないほどなら駅の窓口で「遅延証明書」をもらい、高校に提出する。間に合いそうなら急いで試験会場に向かう。

★何か予定外の事態が生じた場合は、必ず中学校にも連絡を入れること。

★試験当日は、家に誰か待機してもらるか、保護者に必ず連絡が取れるようにしておく。

## □県立高校の出願が迫っています

○入学選考手数料の振り込みは終わりましたか。→19日(金)まで。○受検校は決まっていますか。